

共和駅周辺まちづくり計画（案）に対する意見の概要と市の考え方

No.	ページ	意見の概要	市の考え方
1	該当 ページなし	ごみ収集を夜間にして欲しい。ごみ置き場の管理上の問題点に対する解決策に向き合って欲しい。	本市のごみ収集方式は、地域の皆様が共用のごみステーションを利用することで、生活に身近なごみ出しを通して、ご近所の人との顔が見える関係性の構築に加えて、地域の皆様と共に、効率的なごみ収集に努めております。 いただきました夜間のごみ収集についてのご意見やご要望などは、今後の参考として効率的にごみの収集ができるようにまいりますので、引続きごみの分別にご理解とご協力をお願いします。
2	28	共和駅東側の鞍流瀬川沿いを健康の道（ウォーキングコース）として整備して欲しい。鞍流瀬川沿い（共和駅から大府駅まで）を健康の道（ウォーキングコース）として繋げて欲しい。	共和駅から大府駅までの鞍流瀬川沿いにつきましては、河川管理用通路を活用した緑道整備を行っています。一部区間で道路幅が確保できず、緑道（歩道）の整備ができない区間もありますが、今後も引き続き健康増進のためご利用いただきたいと思います。
3	29	共和駅西の街路樹を落葉樹から常緑樹にして欲しい。大雨の時にU字溝に水がつまる。	街路樹は、まちの景観とうるおいを与えるために必要なものと認識しています。現在の樹木は樹齢も重ねておりますので、まちづくりの中の課題として検証してまいります。

4	24	P. 24 共和駅周辺における空き店舗の状況によると 8 店舗（2021 年）ある。空き家の持ち主は、飲食店不可の希望が多いので、例えば、空き家をフリースクールや「不登校児童生徒」の居場所、高齢者の居場所、障がい者の店などに利用できるように市が関与しながら、空き家活用の事業として行っているかどうか。	共和駅周辺は市有地が少ないエリアです。今後の土地や建物の利活用を検討していくためには、まず始めに、市有地以外の土地及び建物所有者の皆様との関係づくりが必要と考えます。
---	----	---	--

5	10, 12, 32	(7) 駐車場・駐輪場の状況について、2、3 台目の駐車を敷地外の月極駐車場で利用するケースがある。そこで集合住宅では、1 階をまるごと駐車場にし、2 階以上を住居とする場合に補助する施策や、高さ制限の緩和などで一軒家の 3 階化を推奨し、駐車場スペースを拡大して貰うなど、青空駐車場の需要を減らして欲しい。また、最新技術で解決するような事も検討して欲しい。例えば、都市部で採用されている地下駐輪場では、地上スペースをほぼ 0 に抑える事が出来るという記事もある。 (9) 駅周辺の地域資源の状況に、「ゴールドポケットパーク」があるが、集客能力はない。設置当初の価値感のまま、情報がアップデート出来ていないか心配である。 7 事業推進に関する取組 委員について、駅周辺の再開発の計画が「日本初」の取組でもないとする。同じ悩みを抱える自治体はあると考えるので、規模や用途に近い都市を参考に成功例や失敗例を是非取り入れて頂きたい。	共和駅周辺には既成市街地が形成されており、市有地や未利用地が少ない状況にあります。市有地だけではまちづくりが困難であるため、駅周辺の民有地を活用した取組は必要不可欠と考えます。青空駐車場の現状と限られたスペースの中での土地利用の検討につきましては、まちづくりの課題として認識しており、今後も地権者や居住者の皆様のご意見、事業手法、事業費、整備上の課題などを総合的に検討した上で、駅前の利便性を向上できるよう努めてまいります。 また、駅周辺には企業やスーパーなどの施設や公園等の地域資源があり、地域活動も盛んに行われている地域です。また、本市の人口は増加傾向にあり、共和駅東側では大府北山特定土地区画整理事業が実施されていることから、今後も共和駅利用者の増加が見込まれています。 今後の見通しや他自治体の事例なども参考にしながら、駅周辺のポテンシャルを活かした取組を検討し、今後の駅前のまちづくりに努めてまいります。
---	------------	--	--

6	14, 23, 28	P14 駅前に望む施設のアンケートの選択肢に「保育所などの子育て支援施設」があるが、内閣府資料によると、自宅近くの保育所が選択される傾向にあるため、アンケート項目として適切ではないと考える。「大府駅周辺まちづくり計画」P32の調査結果によると、市内の母親の就労状況は、フルタイム勤務者や産休・育休中の母親が増加しており、「保育所などの子育て支援施設」のニーズはあると考えられ、駅前開発において、今回のアンケート結果を理由に不要と判断されることを危惧している。 P28 共和駅周辺のまちづくりの課題整理と方向性において、災害への備えの視点がない。今後、駅東側での計画人口 1,450 人の増加が見込まれ、マンション建設による人口増に対して、小学校・中学校だけでは、避難施設・場所の不足は否めない。駅の機能として、帰宅困難者や地域住民の受け入れを想定した施設・場所の検討は必要ではないか。 P23 駅周辺商業施設の立地に係る分	アンケート結果を理由に、共和駅周辺における子育て支援のニーズは不要とする考えはありません。今後も刻々と変化する子育てを取り巻く状況と子育て世代のニーズに対応しながら、市全体で子ども・子育て支援に努めてまいります。 本計画（案）は、駅周辺の活性化に繋がる都市空間の在り方やまちづくりの方向性を定めることを目的としています。災害への備えに関しましては、「大府市地域防災計画」や「大府市地域強靱化計画」に基づき取り組んでまいります。 共和駅周辺には既成市街地が形成されており、市有地や未利用地が少ない状況にあります。市有地だけではまちづくりが困難であるため、駅周辺の民有地を活用した取組は必要不可欠と考えます。限られたスペースの中で、地権者や居住者の皆様のご意見、事業手法、事業費、整備上の課題などを総合的に検討した上で、駅前の活性化や利便性を向上できるよう努めてまいります。
---	------------	--	--

		析（共和駅周辺）の②共和駅周辺における空き店舗の状況について、既存施設の利用は大家の意向が大きいことから、駅前開発による新たな施設設置の検討が必要と考える。共和駅は東西で人の移動が分断されており、その解消に加えて新たな施設の利用促進の点からもペDESTリアンデッキを備えた商業施設の設置が望ましい。	
--	--	--	--